

# アジア・マンスリー

## (ASIA MONTHLY)

### トピックス

1. 韓国にとって存在感を増すベトナム（向山 英彦） . . . . . 1
2. 急増する中国の不良債権－経済停滞が長期化の恐れ－（関 辰一） . . . . . 3

### 各国・地域の経済動向

1. 韓 国 消費が下支えも、投資が減少 . . . . . 5
2. 台 湾 2015年の成長は大幅に鈍化 . . . . . 6
3. フィリピン 2015年の成長率は+5.8%に減速 . . . . . 7
4. 中 国 第3次産業がけん引した対中直接投資の拡大 . . . . . 8

### アジア諸国・地域の主要経済指標 . . . . . 9

上席主任研究員 向山 英彦  
(mukoyama.hidehiko@jri.co.jp)

## 韓国にとって存在感を増すベトナム

韓国では対中輸出依存度が高いこともあり、中国の成長減速の影響を強く受けている。「過度な」対中依存の是正が課題になるなかで、存在感を増してきたのがベトナムである。

### ■課題となる「過度な」中国依存の是正

韓国ではグローバル化が加速する過程で中国が最大の輸出相手国になり(右上図)、中国経済の影響を受けやすくなった。高成長が続いていた時期にはプラス効果を受けたが、近年は反対に、中国の成長鈍化や生産過剰がもたらすマイナス効果(チャイナショック)を受けている。また、15年は安価な中国製鋼材の輸入が増加したこともあり、対中輸入依存度が過去最高になった。

2000年代の年平均成長率は+4.4%であったが、チャイナショックの影響を受けて、近年は+2~3%台で推移している(15年の実質GDP成長率は+2.6%)。

韓国がチャイナショックの影響を強く受けるのは、対中輸出依存度が高いうえ、影響を受ける業種が多いことによる。基本的に対中輸出額の対GDP比が高い国・地域ほど、中国経済の影響を受けると考えられる。この点を確認するために、中国の成長が加速し+9%以上の成長を続けた2003~11年の年平均成長率と+7%台へ低下した12~15年の年平均成長率の差異を縦軸に、各国の対中輸出額の対GDP比を横軸にとると、総じて同比率が高い国・地域ほど、影響が大きいことが明らかになった(右下図)。

さらに、韓国では輸出に占める新興国の割合が58.8%(14年、IMF統計)とアジア諸国のなかで最も高いため、中国の成長減速に伴い新興国の成長が鈍化している影響も受けていることに注意したい。

韓国が持続的成長を遂げるためには、新産業の育成や内需の拡大とならんで、「過度な」中国依存の是正が課題となる。市場としての中国の重要性は今後も続くであろうが、生産拠点や輸出先の分散化を進めて、中国経済からの影響を小さくする必要がある。輸出先の分散化に関しては、新興市場の開拓を進める一方、景気回復が進む米国向け輸出の強化が重要である。

### ■存在感を増すベトナム

こうしたなかで注目されるのが、ベトナムのプレゼンスが増大してきたことである。ベトナム向け輸出は近年増加基調で推移し、15年も2桁の伸びになった(次頁上図)。他のASEAN(東南アジア諸国連合)諸国向けが減少しているのとは好対照である。

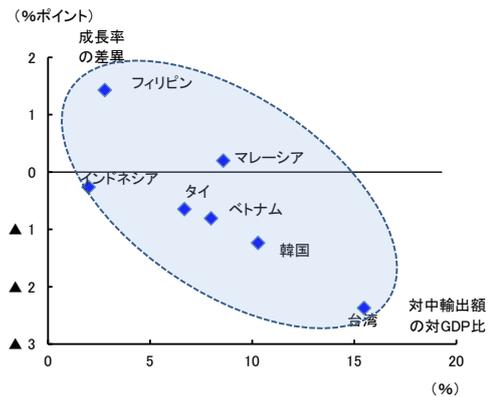
ベトナム向け輸出が伸びた結果、15年に同国が韓国にとって中国、米国、香港につぐ4番目の輸出相手先になった(日本は5番目へ後退)。

<韓国の輸出・輸入に占める主要国の割合(%)>

	輸出			輸入		
	米国	日本	中国	米国	日本	中国
2000	21.8	11.9	10.7	18.2	19.8	8.0
01	20.7	11.0	12.1	15.9	18.9	9.4
02	20.2	9.3	14.6	15.1	19.6	11.4
03	17.7	8.9	18.1	13.9	20.3	12.3
04	16.9	8.5	19.6	12.8	20.6	13.2
05	14.5	8.4	21.8	11.7	18.5	14.8
06	13.3	8.2	21.3	10.9	16.8	15.7
07	12.3	7.1	22.1	10.4	15.8	17.7
08	11.0	6.7	21.7	8.8	14.0	17.7
09	10.4	6.0	23.9	9.0	15.3	16.8
10	10.1	6.0	25.1	9.5	15.1	16.8
11	10.1	7.1	24.2	8.5	13.0	16.5
12	10.7	7.1	24.5	8.3	12.4	15.5
13	11.1	6.2	26.1	8.1	11.6	16.1
14	12.3	5.6	25.4	8.6	10.2	17.1
15	13.3	4.9	26.0	10.1	10.5	20.7

(資料)韓国銀行、Economic Statistics System

<対中輸出依存度と成長率>



(注)成長率は2003~11年の年平均成長率と12~15年の年平均成長率の差異、15年は見込みを含む。

(資料)世界銀行、World Development Indicatorsなど

ベトナム向け輸出が著しく増加した背景に、韓国企業による同国への投資が拡大し、現地生産拡大に伴い韓国から生産財や資本財の輸出が誘発されていることがある。韓国の対外直接投資額（韓国輸出銀行データ）の推移をみると、中国への投資額が減少傾向にあるのに対して、ベトナムへの投資額は安定的に推移している（右下図）。ベトナム向けが増加したことにより、近年 ASEAN 向け投資が中国向け投資を上回っている。

ちなみにベトナム側の統計では、近年韓国が最大の投資国になっている。

ベトナム向け投資が増加した理由としてはまず、中国と比較して労働コストが低廉なため生産拠点として魅力があること、一定の人口規模（9,000万人強）を有し、市場としての魅力があることが指摘できる。実際、韓国の CJ グループやロッテグループがベトナムで消費関連事業を拡大している。

なお、KOTRA（大韓貿易投資振興公社）の調査（「중국 및 동남아 진출 기업 실태 조사」2014年）によれば、中国で操業している韓国企業の移転先候補として、ベトナムが最も多い。

ベトナム向け投資が増加した理由は上記以外に、①電子部品産業が集積している中国華南地域に隣接していること（輸送網の整備により華南からの部品調達が容易に）、②サムスン電子がベトナムをスマホの主力生産基地に位置づけたことにより、関連メーカーが相次いで進出していること、③TPP（環太平洋経済連携協定）に参加していること、④15年末に ASEAN 経済共同体が発足したことなどがある。

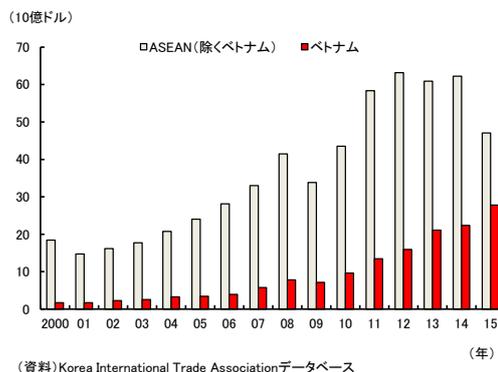
ベトナムでは対米輸出依存度が 19.1%（14年）と高く、他のアジア諸国では輸出が低迷するなかで、米国向けを中心に底堅く推移している。TPP 発効に伴い、同国が米国の輸出生産拠点としての役割を担うものと期待されている。

ASEAN 経済共同体の発足もベトナム向け投資の増加に一役買っている。ASEAN の域内人口は欧州連合（EU）を上回る 6億 2,000万人で、人口動態面から成長の余地がある。メコン河流域の国では国境を跨ぐ広域開発や輸送網の整備が進んでいる。輸送網の整備は、①域内のサプライチェーン拡大、②国境沿いの工業団地への工場進出、③労働コストの高い国から低い国への生産シフトをもたらしており、成長ポテンシャルは高い。サムスン電子や LG 電子がベトナムに家電工場を設立したのは、ASEAN 向けの輸出生産基地にする狙いがある。

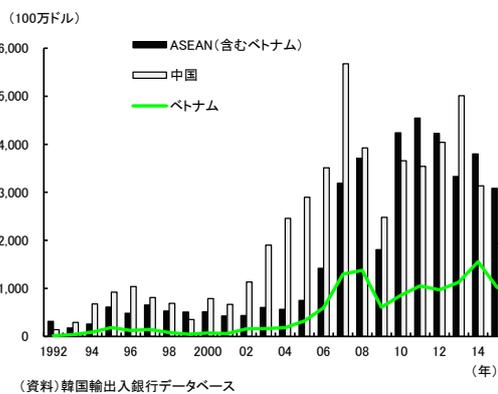
■注目すべき今後の動き

数年前と比較して、韓国でも「過度な」中国依存を是正する動きが広がっている。IIT（韓国貿易協会のシンクタンク）はポストチャイナとして、ベトナム、インドネシア、ミャンマーを挙げている。中国の存在が大きいだけに、短期間では大きな変化が生じないであろうが、今後の韓国企業の動きならびに韓国の対外経済関係の行方に注目していく必要がある。

＜韓国の対ベトナム輸出＞



＜韓国の対ベトナム直接投資額＞



副主任研究員 関 辰一  
(seki.shinichi@jri.co.jp)

## 急増する中国の不良債権—経済停滞が長期化の恐れ—

中国では、景気減速下、不良債権が急増している。先行き、中小民間企業に対する貸し渋りや貸し剥がしのリスクが高まるほか、国有企業向けの追い貸しの問題も懸念される。

### ■急増する不良債権

中国では、不良債権が急増している。銀行業監督管理委員会によると、2015年末の全国金融機関の不良債権残高は1兆2,744億元（約25兆円）と前年末対比+51.2%増加し、不良債権比率は1.7%に上昇している（右上図）。

さらに、不良債権残高の公式統計には①オフバランスの与信が対象に入っていない、②不良債権の認定が甘い、等の問題があることを踏まえると、実際の不良債権は公式統計を大きく上回る規模と考えられる。

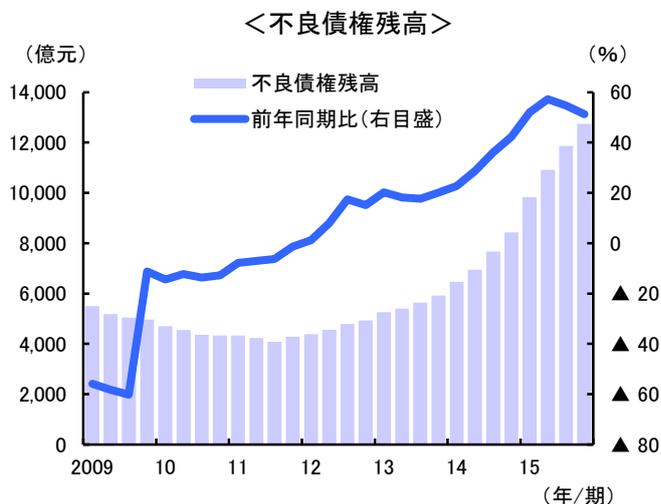
この背景には、景気減速による企業の資金繰りの悪化がある。2015年の中国の実質GDP成長率は前年比+6.9%と25年ぶりの水準に低下した。輸出額は前年比マイナスとなり、小売売上高と固定資産投資の伸び率も2014年から低下し、内外需いずれも悪化している。

需要の弱まりを受けて、企業収益は悪化している。工業企業の売上高は2014年秋まで前年比+7~8%程度の伸びを維持していたものの、2015年通年では前年比+0.8%に大きく鈍化し、税前利益にあたる利潤総額は同▲2.3%のマイナスとなった。こうしたなか、企業の資金繰りはリーマン・ショック時よりも厳しい状況に陥っている（右下図）。

### ■政府は貸し渋り・貸し剥がしを警戒

中国人民銀行は2016年のマクロ経済を展望するにあたり、不良債権比率の上昇が主要リスクの一つであると明記しており、中央経済工作会議では不良債権処理を2016年の重要課題の一つと指摘していることも、不良債権問題が深刻化していることを示唆する。

具体的には、2015年12月16日、中国人民銀行の首席エコノミストである馬駿氏は、同行研究担当スタッフ5名との連名で、「2016年中国宏観経済予測」というタイトルのワーキング・ペーパーを発表した。そのなかで、2016年の実質成長率は+6.8%と2015年から0.1%ポイント低下するとの予測を公表すると同時に、①過剰生産能力による製造業の投資減速、②不良債権



比率の上昇による銀行の融資慎重化、③速すぎる米国の利上げペース、という3つが主な景気下振れリスクになると整理している。

②については、特に石炭、鉄鋼、建材など過剰生産能力がみられるセクターと中小零細企業向け融資において、貸し渋りや貸し剥がしの恐れがあると警鐘を鳴らしている。こうした状況下、2015年12月21日に閉幕した中央経済工作会議では、不良債権処理にあたり、可能な限り企業破たんを少なくし、企業合併を模索するとの声明が発表されている。

なお、不良債権を金融機関別にみると、とりわけ農協にあたる農村信用社の不良債権比率が高い水準にある。中国人民銀行の「2015年第三季度中国貨幣政策執行報告」によると、2015年9月末時点で1,397社の農村信用社の不良債権残高は合計5,000億元、不良債権比率は4.2%に達する。また、業種別にみると、採掘業、製造業、建設業、卸小売業、不動産業で不良債権比率が高いとみられ、企業規模別では、不良債権の大半は中小企業向けとされる。

■国有企業向けの追い貸しも問題

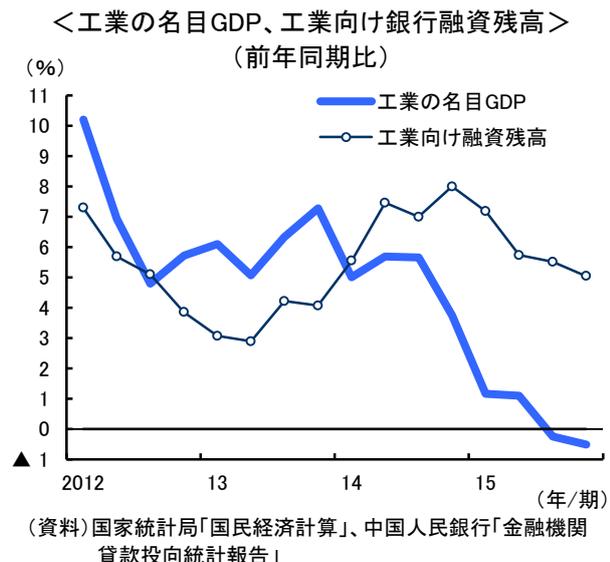
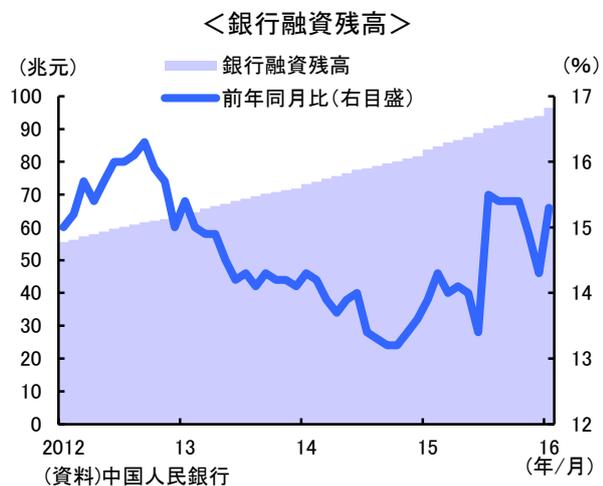
不良債権の急増が銀行の貸し渋りや貸し剥がしにつながれば、とりわけ中小民間企業の資金繰りが一段と厳しくなる恐れがあることは間違いない。

一方で、中国政府が雇用の安定を重視していること、国有企業が多くの上乗者を抱えていること、政府が国有銀行の融資動向に大きな影響力を持っていること、などを勘案すれば、国有企業向けの追い貸しが行われることも懸念される。

実際に追い貸しが行われている兆候も散見される。中国人民銀行によると、2015年末の銀行融資残高は前年末に比べ+14.3%と、2014年末の前年比+13.6%から加速している(右上図)。

融資統計がとれる工業部門をみると、生産活動に急ブレーキがかかるなか、一部で赤字企業が市場から退出する動きもみられるものの、全体で見れば工業向け融資は一段と増大している(右下図)。

不良債権の抜本的な処理は、短期的には痛みが大きいものの、収益性が劣る事業あるいは企業が市場から退出し、市場メカニズムに則った新陳代謝が進むことで、その後の力強い景気拡大につながるものでもある。新陳代謝の動きが限られるなか、資本や労働力の効率的な配分が遅れ、中国経済の停滞が長期化することが懸念される。



## 韓国 消費が下支えも、投資が減少

### ■成長率は前年から鈍化

2015年10～12月期の実質GDP成長率は、前期比+0.6%（速報値、前年同期比+3.0%）と、7～9月期（+1.3%）から鈍化した（右上図）。

内訳をみると、15年入り以降、成長の下支えとなっていた総資本形成が前期比▲0.4%（以下同じ）と、建設投資（▲6.1%）の大幅な減少によりマイナスに転じた。一方、民間消費が+1.5%、政府消費が+1.2%と底堅く推移し、輸出も+2.1%と増加した。

民間消費が堅調に推移している背景には、14年以降4度にわたる政策金利の引き下げに伴う金利低下に加え、15年8月末に打ち出された自動車の個別消費税の減税（当初12月末まで）、10月前半に実施された大規模セールであるコリア・ブラックフライデーなど消費刺激策の実施がある。ただし、足元では消費者マインドが判断の分かれ目となる100まで低下していることには留意が必要である（右下図）。

輸出は、財輸出が+1.8%、サービス輸出が+4.3%となり、2四半期ぶりにプラスに転じた。もっとも、1月の通関ベースの輸出をみると、前年同月比▲18.8%と大幅に減少しており、回復ペースの加速は期待できないだろう。

2015年通年の実質GDP成長率は、景気刺激策に支えられて内需が底堅く推移したものの、中国経済の減速を主因とする海外景気の鈍化や5～7月のMERS（中東呼吸器症候群）の影響により前年比+2.6%と前年（+3.3%）を下回った。先行きを展望すると、外需の低迷長期化に加え、内需では景気刺激策のはく落による消費の減速や住宅ローン審査基準の強化による建設投資の抑制が想定され、景気の回復ペースは緩慢にとどまる可能性が高い。

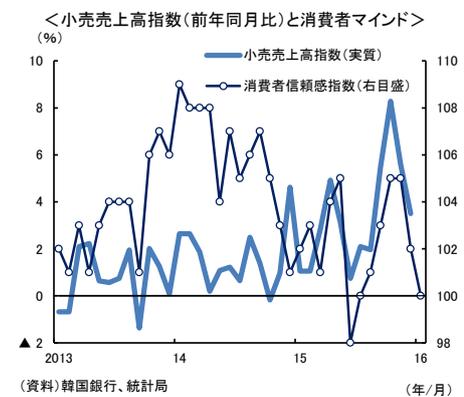
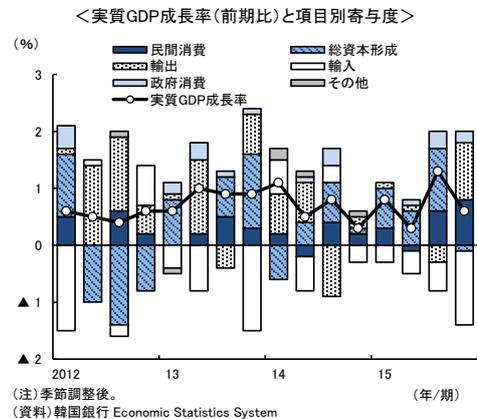
### ■インフレ目標を引き下げ

15年の消費者物価上昇率は+0.7%と、韓国銀行の目標（13～15年：+2.5%～3.5%）を下回る水準となった。これを受けて、韓国銀行は12月の金融通貨委員会で16～18年までの物価目標を+2%に引き下げ、本格的にインフレ目標実現に取り組む意向を表明した。

一方、政策金利は1.5%と15年6月以降、据え置きが続いている。国内景気が鈍化するなか、緩和的なスタンスを続けるとみられる半面、家計の債務拡大や米国の利上げを受けた資金流出への懸念が重しとなり、追加利下げには慎重な姿勢を堅持するとみられる。

2月初旬、年初からの景気冷え込みを危惧した政府は、1～3月期に6兆ウォンの追加財政支出や、昨年末で終了した自動車の個別消費税の引き下げを16年6月まで再導入するといった景気刺激策を発表した。政府の下支えにより景気の一部の悪化は回避される見込みだが、中長期的な成長を期待するには産業競争力の強化に向けた踏み込んだ改革が不可欠といえよう。

研究員 松田 健太郎 (matsuda.kentaro@jri.co.jp)



## 台湾 2015年の成長は大幅に鈍化

### ■輸出の低迷が成長を下押し

15年10～12月期の実質GDP成長率は、前年同期比（以下同じ）▲0.3%と前期（▲0.6%）をやや上回ったものの、2四半期連続のマイナス成長になった（右上図）。

需要項目別の寄与度をみると、民間消費が+0.9%ポイント、政府消費が+0.0%ポイント、総資本形成が▲0.1%ポイント、純輸出が▲1.1%ポイントであった。10月末に打ち出された省エネ家電への補助金など政府の消費刺激策を受けて民間消費が持ち直した一方、中国経済の減速に起因した世界的な景気鈍化や主力の電子部品の競争激化により、輸出は低迷が続いている。

輸出の低迷を背景に、製造業生産も落ち込んでいく（右下図）。12月は、化学が前年同月比+4.6%と増加したものの、電子部品同▲4.1%、基礎金属同▲16.0%、PC通信機器同▲12.1%と主要業種で軒並み減産が続いている。1月の製造業購買担当者指数は拡大を示す50を上回ったが、これは2月の中国の春節前の受注増加によるところが大きく、製造業全体の在庫水準も高止まりしていることを踏まえれば、企業部門の低迷長期化が懸念される。なお、足元で

は、失業率が2カ月連続で上昇しており、雇用・所得環境の先行きにも注意する必要がある。

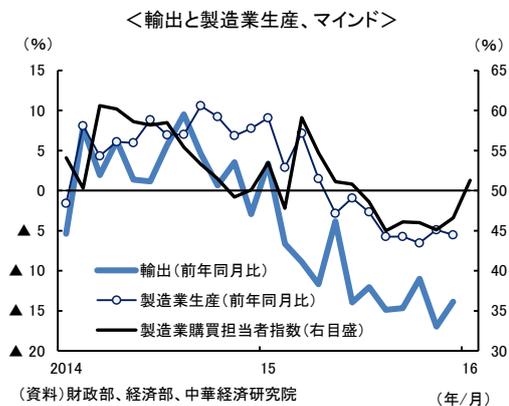
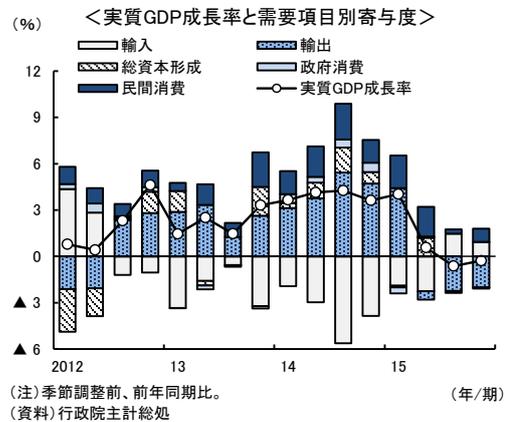
15年通年の実質GDP成長率は+0.9%と、2009年以来の低成長となった。今後は、政府による景気刺激策や2度にわたる利下げを受けて民間消費が景気を下支えするものの、力強いけん引役が不在の状況下、回復ペースは緩慢にとどまる公算が大きい。政府は16年の成長率見通しを2.3%としているが、輸出動向次第では更なる下方修正も予想される。

### ■総統選挙は民進党が大勝

1月16日に第14回総統選挙が実施され、野党の民進党が大勝する結果となった。民進党による政権獲得は、2000～08年までの陳水扁政権以来となり、党主席の蔡英文氏が5月より総統に就任することが決定した。同時に行われた立法委員選挙でも、民進党は133議席中、68議席と初の過半数を獲得し、ねじれにより不安定だった前回政権時と比較して安定的な政策運営が期待される。

対中政策に注目が集まる一方で、経済の立て直しも急務となっている。新政権は、経済政策としてTPP（環太平洋経済連携協定）参加やアジア各国とのFTA締結を目指すほか、産業競争力の強化・新産業育成を目的とした「五大イノベーション研究開発計画」などを打ち出している。域内産業の活力が低下しているため、長期・短期双方を見据えた経済構造の改革が求められる。

研究員 松田 健太郎 (matsuda.kentaro@jri.co.jp)



## フィリピン 2015年の成長率は+5.8%に減速

### ■15年10～12月期は+6.3%成長に加速

15年10～12月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.3%と7～9月期(同+6.1%)から加速し、1年ぶりの高成長となった(右上図)。一方、15年通年では、年前半の成長鈍化により、前年比+5.8%と2年連続で減速した。

10～12月期の需要項目別寄与度をみると、民間消費が+4.7%ポイント(7～9月期:+4.2%ポイント)、政府消費+1.4%ポイント(同+1.7%ポイント)、総固定資本形成+4.9%ポイント(同+2.9%ポイント)、在庫投資▲1.5%ポイント(同▲0.1%ポイント)、輸出+2.7%ポイント(同+3.6%ポイント)、輸入▲5.8%ポイント(同▲8.1%ポイント)であった。輸出や政府消費の寄与度縮小や在庫投資の減少がマイナス要因となる一方、民間消費や総固定資本形成の伸びが成長率を押し上げた。

民間消費は、低インフレや堅調な在外フィリピン人労働者送金(OFW送金)が下支えした。10～12月期のインフレ率は+1.0%と、中銀のターゲットレンジ(+2.0～4.0%)を下回っている。また、10～11月のペソ建てのOFW送金額も、前年同期比+5.8%と高い伸びを維持している。一方、建設業の総産出額の部門別寄与度が民間部門▲0.4%ポイント、公共部門+8.2%ポイントとなっていることから、公共投資の拡大が総固定資本形成をけん引したことが確認できる(右下図)。

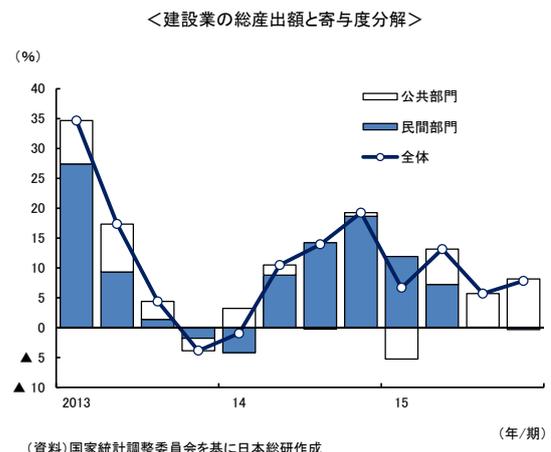
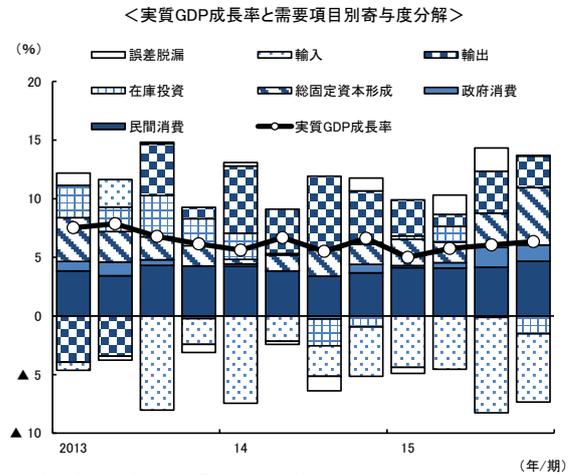
先行きも、①資源価格の低迷によるインフレ率の低位安定などを背景とした民間消費の堅調、②政府によるインフラ関連支出の拡大やPPP事業本格化に伴う民間投資の持ち直しを受けた総固定資本形成の加速、③5月に予定されている総選挙関連の政府支出の増加などから、景気は回復トレンドを維持すると見込まれる。

### ■選挙管理委員会は5月総選挙の候補者リストを公表

こうしたなか5月9日の総選挙へ向けた動きに注目が集まっている。中央選挙管理委員会(COMELEC)は、1月21日、正副大統領選などの最終候補者リストを公表した。その後の立候補取り下げなどもあり、大統領候補、副大統領候補ともに6名ずつとなっている。

現アキノ政権は、汚職撲滅などの改革を実施するとともに、経済面でもこれまでの政権に比べて高い成長を実現している。このため、次期政権にも高パフォーマンスが期待されている。2月9日より解禁となった選挙運動において、徐々に明らかになるであろう各候補の政策が注目される。

研究員 塚田 雄太 (tsukada.yuta@jri.co.jp)



## 中国 第3次産業がけん引した対中直接投資の拡大

### ■製造業向けは減少

商務部は、2015年通年の対中直接投資額（銀行、証券、保険向けを除く）を1,262.7億ドルと発表した（右上図）。前年比の伸び率は+6.4%と、3年連続でプラスとなった。

主要国・地域別にみると、ASEAN、EU、香港からの直接投資は増加した一方、米国、日本、台湾からは前年実績を下回り、二極化傾向を指摘できる。とりわけ、日本に関しては、マイナス幅は14年より縮小（前年比▲38.8%）したものの、15年も前年比▲25.2%と、上位投資国の中で落ち込みが際立っている。政治的な対立は最悪期を脱しており、むしろ円安や人件費の上昇などが減少の主因とみられる。

業種別では、製造業向け投資額の減少およびシェアの低下が続いている（右下図）。15年に海外から製造業への直接投資は395.4億ドルと、11年のピーク時の4分の3の規模に縮小した。対中直接投資に占める製造業の割合をみると、04年の71.0%を境に低下傾向をたどり、15年は31.3%と、過去最低水準を記録した。人件費の上昇に加え、景気の減速に伴い過剰生産設備や在庫処理の問題が深刻化していることが、外資企業の進出意欲と同時に、中国メーカーの外資導入意欲を冷え込ませたと考えられる。

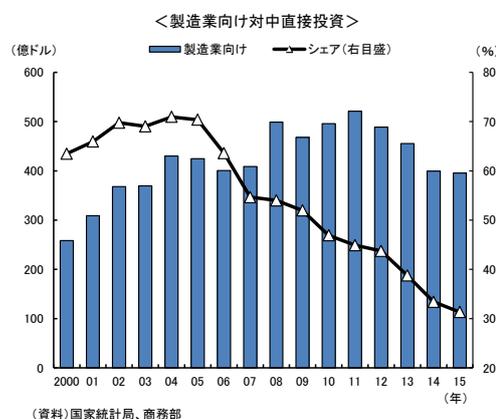
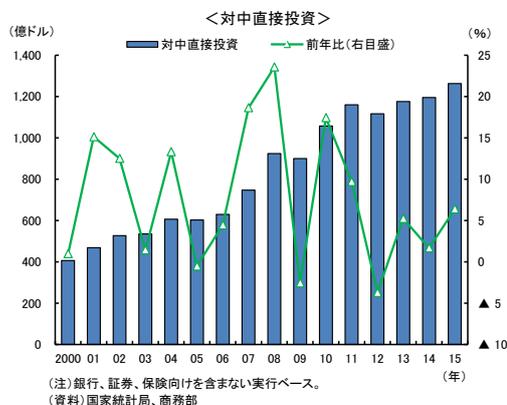
対照的に、第3次産業向けの直接投資は、卸売・小売が前年比+27.0%という大幅な伸びを示すなど、総じて好調であった。中国を巨大かつ成長性の高い消費市場と位置付け、契約した案件が着実に実行され、小売やソフトウェアサービスなどへの対中直接投資を押し上げた模様である。それに加え、中国の産業構造において、第2次産業から第3次産業への緩やかなシフトが進展し、現在では第3次産業が名目GDPの半分超（15年は50.5%）を占めるようになった。こうした趨勢も、サービス業への直接投資を増加させた一因として指摘できる。

### ■先行きは楽観できず

16年の対中直接投資については、景気減速前の案件が一巡し、拡大持続を楽観できない。さらに、16年入り後も外貨準備高の減少に歯止めがかからず、中国からの資金流出懸念は残存している。製造業購買担当者指数（PMI）も、好不況の目安となる50を下回る状態が続くなど、外資企業の対中進出意欲を削ぐような要因が多々みられる。

こうした情勢を踏まえ、習近平政権は外資企業の進出を歓迎し、その権益を保護する姿勢は変わらないと繰り返しアピールするようになった。もっとも、外資企業の不安を抜本的に取り除くには、政権自身が表明しているように、参入規制の緩和や公平な法運用など、投資環境の改善につながる取り組みを続けることが重要と思われる。習政権による着実な実行が期待される。

主任研究員 佐野 淳也 (sano.junya@jri.co.jp)



アジア諸国・地域の主要経済指標

1. 経済規模と所得水準 (2014年)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
名目GDP (億ドル)	14,102	5,295	2,896	3,079	3,739	3,271	8,506	2,846	103,258	18,768	1,862
人口(百万人)	50.4	23.4	7.3	5.5	65.1	30.3	252.2	99.9	1,368	1,243	90.7
1人当たりGDP(ドル)	27,966	22,596	39,868	56,289	5,742	10,809	3,373	2,849	7,549	1,509	2,052

(注1) インドは2013年度。以下、表2~10は年度、表11~13は暦年。

2. 実質GDP成長率(前年比、前年同期比、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	2.9	2.2	3.1	4.4	2.8	4.7	5.6	7.1	7.7	6.6	5.4
2014年	3.3	3.9	2.5	2.9	0.9	6.0	5.0	6.1	7.3	7.2	6.0
2015年	2.6	0.9					4.8	5.8	6.9		6.7
2013年4~6月	2.7	2.5	3.1	4.1	2.7	4.6	5.6	7.9	7.5	6.7	4.9
7~9月	3.2	1.5	3.1	5.5	2.6	4.9	5.5	6.8	7.9	7.8	5.5
10~12月	3.5	3.3	2.8	5.4	0.7	5.0	5.6	6.1	7.6	6.4	6.0
2014年1~3月	3.9	3.7	2.7	4.6	-0.4	6.3	5.1	5.6	7.3	4.4	4.8
4~6月	3.4	4.1	2.0	2.3	0.9	6.5	5.0	6.7	7.4	7.5	5.5
7~9月	3.3	4.3	2.9	2.8	1.0	5.6	5.0	5.5	7.1	8.3	6.4
10~12月	2.7	3.6	2.4	2.1	2.1	5.7	5.0	6.6	7.2	6.6	6.8
2015年1~3月	2.5	4.0	2.4	2.7	3.0	5.6	4.7	5.0	7.0	6.7	6.1
4~6月	2.2	0.6	2.8	2.0	2.8	4.9	4.7	5.8	7.0	7.6	6.5
7~9月	2.7	-0.6	2.3	1.9	2.9	4.7	4.7	6.1	6.9	7.7	6.6
10~12月	3.0	-0.3					5.0	6.3	6.8	7.3	7.2

3. 製造業生産指数(前年比、前年同月比、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	0.7	0.6	0.1	1.7	2.4	4.2	6.0	5.4	9.7	-0.8	7.4
2014年	0.1	6.6	-0.4	2.7	-5.2	6.1	4.8	6.3	8.3	2.3	8.7
2015年	-0.7	-1.4		-5.2	0.3	4.8	4.6	-4.4	6.1		10.6
2014年5月	-2.2	6.0		-1.9	-8.2	8.0	3.8	11.4	8.8	5.9	7.5
6月	0.5	8.8	2.2	0.7	-4.6	9.2	6.1	10.1	9.2	2.9	9.0
7月	4.3	7.0		2.6	-6.5	3.2	1.5	6.0	9.0	-0.3	10.3
8月	-2.6	7.0		3.8	-6.6	7.4	6.0	4.5	6.9	-1.1	8.4
9月	2.0	10.6	-1.7	-1.2	-3.6	4.7	9.8	5.5	8.0	2.7	9.2
10月	-3.3	9.2		0.3	-2.3	3.2	5.3	8.0	7.7	-5.6	10.2
11月	-3.5	6.8		-1.9	-5.6	3.9	4.8	6.9	7.2	4.7	11.0
12月	1.1	7.8	-3.6	-1.8	-0.3	7.9	6.5	3.2	7.9	4.1	11.3
2015年1月	1.6	9.1		0.6	0.7	6.6	5.4	-1.1	6.8	3.4	19.4
2月	-5.1	2.9		-3.6	1.7	4.0	3.1	-7.6	6.8	5.1	7.5
3月	0.1	7.2	-1.6	-5.2	-1.0	6.3	6.7	8.6	5.6	2.7	9.5
4月	-2.7	1.5		-9.0	-0.1	4.2	8.4	-6.3	5.9	3.9	10.9
5月	-3.0	-2.8		-2.0	-0.1	3.2	2.4	-8.0	6.1	2.1	9.6
6月	1.5	-0.9	-1.2	-4.2	-0.6	4.9	5.0	-7.9	6.8	5.2	11.0
7月	-3.5	-2.7		-6.8	2.7	4.2	4.4	-6.6	6.0	4.8	10.5
8月	-0.1	-5.7		-7.0	0.5	4.3	5.7	-5.8	6.1	6.6	10.6
9月	2.8	-5.7	-2.0	-4.2	-0.3	5.6	2.0	-5.5	5.7	2.7	11.5
10月	2.3	-6.5		-5.5	-0.8	6.2	5.4	-6.3	5.6	10.6	9.1
11月	-0.1	-4.9		-6.4	0.3	4.0	5.7	-1.9	6.2	-4.7	11.3
12月	-1.8	-5.5		-7.9	1.3	4.1	1.0	-2.6	5.9	-2.4	13.8
2016年1月											8.2

(注2) 中国は工業生産付加価値指数。

4. 消費者物価指数 (前年比、前年同月比、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	1.3	0.8	4.3	2.4	2.2	2.1	6.4	2.9	2.6	9.4	6.6
2014年	1.3	1.2	4.4	1.0	1.9	3.1	6.4	4.2	2.0	5.9	4.1
2015年	0.7	-0.3	3.0	-0.5	-0.9	2.1	6.4	1.4	1.4		0.6
2014年5月	1.7	1.6	3.7	2.3	2.6	3.2	7.3	4.5	2.5	8.3	4.7
6月	1.7	1.6	3.6	1.9	2.4	3.3	6.7	4.4	2.3	6.8	5.0
7月	1.6	1.8	4.0	1.3	2.2	3.2	4.5	4.9	2.3	7.4	4.9
8月	1.4	2.1	3.9	1.0	2.1	3.3	4.0	4.9	2.0	7.0	4.3
9月	1.1	0.7	6.6	0.7	1.8	2.6	4.5	4.4	1.6	5.6	3.6
10月	1.2	1.1	5.2	0.2	1.5	2.8	4.8	4.3	1.6	4.6	3.2
11月	1.0	0.9	5.1	-0.3	1.3	3.0	6.2	3.7	1.4	3.3	2.6
12月	0.8	0.6	4.9	-0.1	0.6	2.7	8.4	2.7	1.5	4.3	1.8
2015年1月	0.8	-0.9	4.1	-0.4	-0.4	1.0	7.0	2.4	0.8	5.2	0.9
2月	0.5	-0.2	4.6	-0.3	-0.5	0.1	6.3	2.5	1.4	5.4	0.3
3月	0.4	-0.6	4.5	-0.3	-0.6	0.9	6.4	2.4	1.4	5.3	0.9
4月	0.4	-0.8	2.8	-0.5	-1.0	1.8	6.8	2.2	1.5	4.9	1.0
5月	0.5	-0.7	3.0	-0.4	-1.3	2.1	7.1	1.6	1.2	5.0	1.0
6月	0.7	-0.6	3.1	-0.3	-1.1	2.5	7.3	1.2	1.4	5.4	1.0
7月	0.7	-0.6	2.5	-0.4	-1.0	3.3	7.3	0.8	1.6	3.7	0.9
8月	0.7	-0.4	2.4	-0.8	-1.2	3.1	7.2	0.6	2.0	3.7	0.6
9月	0.6	0.3	2.0	-0.6	-1.1	2.6	6.8	0.4	1.6	4.4	0.0
10月	0.9	0.3	2.4	-0.8	-0.8	2.5	6.2	0.4	1.3	5.0	0.0
11月	1.0	0.5	2.4	-0.8	-1.0	2.6	4.9	1.1	1.5	5.4	0.3
12月	1.3	0.1	2.5	-0.6	-0.9	2.7	3.4	1.5	1.6	5.6	0.6
2016年1月	0.8	0.8			-0.5		4.1	1.3			0.8

5. 失業率 (%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	3.1	4.2	3.4	1.9	0.7	3.1	6.3	7.1	4.1		2.8
2014年	3.5	4.0	3.2	2.0	0.8	2.9	5.9	6.8	4.1		2.4
2015年	3.6	3.8	3.3	1.9	0.9			4.1			2.3
2014年4月	3.9	3.9	3.2		0.9	2.9		7.0			
5月	3.6	3.9	3.2		0.9	2.9					
6月	3.5	3.9	3.3	2.6	1.1	2.8			4.1		1.8
7月	3.4	4.0	3.5		1.0	2.8		6.7			
8月	3.3	4.1	3.5		0.7	2.7	5.9				
9月	3.2	4.0	3.5	1.7	0.8	2.7			4.1		2.2
10月	3.2	4.0	3.4		0.8	2.7		6.0			
11月	3.1	3.9	3.3		0.5	2.7					
12月	3.4	3.8	3.1	1.6	0.6	3.0			4.1		2.1
2015年1月	3.8	3.7	3.1		1.1	3.1		6.6			
2月	4.6	3.7	3.1		0.8	3.2	5.8				
3月	4.0	3.7	3.2	1.7	1.0	3.0			4.1		2.4
4月	3.9	3.6	3.3		0.9	3.0		6.4			
5月	3.8	3.6	3.3		0.9	3.1					
6月	3.9	3.7	3.3	2.6	0.8	3.1			4.0		2.4
7月	3.7	3.8	3.4		1.0	3.2		6.5			
8月	3.4	3.9	3.5		1.0	3.2	6.2				
9月	3.2	3.9	3.5	1.7	0.8	3.2			4.1		2.4
10月	3.1	3.9	3.4		0.9	3.1		5.7			
11月	3.1	3.9	3.3		0.9	3.2					
12月	3.2	3.9	3.1	1.6	0.7				4.1		2.1

6. 輸出 (通関ベース、100万米ドル、%)

	韓国	前年比	台湾	前年比	香港	前年比	シンガポール	前年比	タイ	前年比
2013年	559,632	2.1	305,441	1.4	459,234	3.6	407,014	-0.1	228,505	-0.3
2014年	572,665	2.3	313,696	2.7	473,978	3.2	405,318	-0.4	227,524	-0.4
2015年	526,757	-8.0	280,465	-10.6	465,481	-1.8	346,699	-14.5	214,375	-5.8
2014年5月	47,577	-1.5	26,655	1.4	39,469	5.1	34,511	-1.8	19,401	-2.1
6月	47,828	2.4	26,795	1.2	39,890	11.5	34,528	4.4	19,714	3.2
7月	48,205	5.2	26,740	5.7	42,084	6.9	34,729	0.2	18,894	-0.9
8月	46,108	-0.4	28,072	9.5	42,220	6.5	34,007	0.7	18,936	-7.4
9月	47,446	6.3	26,405	4.6	42,823	4.5	34,606	-1.9	19,913	3.2
10月	51,631	2.3	26,882	0.6	42,764	2.6	34,415	-9.5	20,206	4.2
11月	46,605	-2.7	26,639	3.5	42,142	0.4	31,040	-7.4	18,542	-1.1
12月	49,461	3.1	25,609	-2.9	40,334	0.6	31,171	-5.4	18,737	1.6
2015年1月	45,105	-1.0	25,108	3.4	40,225	2.8	31,150	-6.9	17,247	-3.5
2月	41,472	-3.4	19,863	-6.7	29,443	7.3	24,474	-22.4	17,225	-6.2
3月	46,823	-4.6	25,269	-8.9	38,167	-1.8	32,141	-7.8	18,878	-4.5
4月	46,222	-8.0	23,488	-11.7	37,666	2.2	30,569	-16.2	16,896	-1.7
5月	42,327	-11.0	25,630	-3.8	37,642	-4.6	29,032	-15.9	18,427	-5.0
6月	46,555	-2.7	23,057	-13.9	38,634	-3.1	29,928	-13.3	18,161	-7.9
7月	45,696	-5.2	23,520	-12.0	41,395	-1.6	30,511	-12.1	18,222	-3.6
8月	39,107	-15.2	23,898	-14.9	39,630	-6.1	26,865	-21.0	17,669	-6.7
9月	43,432	-8.5	22,533	-14.7	40,868	-4.6	28,227	-18.4	18,816	-5.5
10月	43,352	-16.0	23,924	-11.0	41,238	-3.6	30,280	-12.0	18,566	-8.1
11月	44,285	-5.0	22,116	-17.0	40,681	-3.5	26,285	-15.3	17,167	-7.4
12月	42,380	-14.3	22,058	-13.9	39,890	-1.1	27,236	-12.6	17,100	-8.7
2016年1月	36,623	-18.8								

	マレーシア	前年比	インドネシア	前年比	フィリピン	前年比	中国	前年比	インド	前年比	ベトナム	前年比
2013年	228,450	0.3	182,552	-3.9	56,698	8.8	2,209,004	7.8	314,416	4.7	132,033	15.3
2014年	234,039	2.4	175,980	-3.6	62,102	9.5	2,342,293	6.0	309,908	-1.4	150,130	13.7
2015年	199,952	-14.6	150,252	-14.6	58,648	-5.6	2,274,950	-2.9			162,053	7.9
2014年5月	20,052	8.8	14,824	-8.1	5,932	15.6	195,596	7.1	27,997	12.3	12,408	7.0
6月	19,022	5.5	15,409	4.4	5,462	21.6	186,756	7.2	25,904	7.9	12,378	12.7
7月	19,197	1.1	14,124	-6.4	5,425	11.7	212,744	14.4	25,793	-0.2	12,916	12.2
8月	20,113	5.0	14,482	10.7	5,471	10.4	208,330	9.4	26,803	1.8	13,272	12.6
9月	20,043	2.9	15,276	3.9	5,846	15.6	213,562	15.2	28,868	2.6	12,634	14.4
10月	19,888	-6.1	15,293	-2.6	5,148	2.4	206,771	11.6	25,891	-5.8	14,068	12.5
11月	19,008	-2.7	13,545	-15.0	5,175	19.7	211,563	4.7	26,486	9.4	13,230	10.8
12月	19,374	-4.5	14,436	-14.9	4,802	-3.2	227,430	9.7	26,154	-0.9	12,876	11.6
2015年1月	17,743	-8.5	13,245	-8.5	4,357	0.0	199,889	-3.5	24,370	-9.4	13,405	17.0
2月	14,781	-17.1	12,173	-16.8	4,513	-3.0	169,046	48.2	21,577	-14.9	9,513	-0.3
3月	18,065	-8.7	13,634	-10.3	5,377	2.1	144,266	-15.1	24,033	-20.8	13,345	8.7
4月	16,625	-18.3	13,104	-8.3	4,376	-4.1	175,949	-6.6	22,036	-15.4	13,348	2.1
5月	16,804	-16.2	12,690	-14.4	4,899	-17.4	188,857	-3.4	22,344	-20.2	13,699	10.4
6月	17,195	-9.6	13,506	-12.4	5,364	-1.8	189,604	1.5	22,516	-13.1	14,325	15.7
7月	16,627	-13.4	11,466	-18.8	5,327	-1.8	193,192	-9.2	23,231	-9.9	14,181	9.8
8月	16,370	-18.6	12,727	-12.1	5,128	-6.3	196,213	-5.8	22,304	-16.8	14,481	9.1
9月	16,288	-18.7	12,588	-17.6	4,939	-15.5	205,154	-3.9	21,524	-25.4	13,814	9.3
10月	17,814	-10.4	12,122	-20.7	4,590	-10.8	192,371	-7.0	21,350	-17.5	14,314	1.7
11月	15,680	-17.5	11,111	-18.0	5,118	-1.1	196,724	-7.0	19,274	-27.2	13,894	5.0
12月	15,961	-17.6	11,886	-17.7	4,660	-3.0	223,684	-1.6	22,297	-14.7	13,735	6.7
2016年1月											13,800	2.9

7. 輸入 (通関ベース、100万米ドル、%)

	韓国	前年比	台湾	前年比	香港	前年比	シンガポール	前年比	タイ	前年比
2013年	515,586	-0.8	269,897	-0.2	524,075	3.8	373,116	-1.8	250,407	0.5
2014年	525,515	1.9	274,026	1.5	544,909	4.0	366,267	-1.8	227,748	-9.0
2015年	436,499	-16.9	228,922	-16.5	522,559	-4.1	296,797	-19.0	202,654	-11.0
2014年5月	42,607	0.5	21,372	-2.3	44,932	3.8	32,442	1.9	20,006	-10.2
6月	42,476	4.3	24,900	7.4	45,451	7.8	30,075	1.6	18,049	-14.0
7月	45,864	5.7	24,125	9.3	47,520	7.6	31,859	-1.5	19,998	-2.9
8月	42,792	2.9	23,970	13.9	46,288	3.4	28,840	-6.9	17,797	-14.2
9月	44,185	7.6	22,870	-0.1	49,320	6.3	30,657	-5.2	21,711	14.4
10月	44,097	-3.3	22,264	-1.5	49,189	5.6	31,432	-7.6	20,132	-4.9
11月	41,343	-4.1	22,455	5.0	48,869	2.4	26,420	-14.5	18,646	-3.5
12月	43,910	-1.0	21,198	-12.3	47,976	1.8	28,245	-5.6	17,201	-8.7
2015年1月	39,283	-12.2	20,325	-4.7	45,000	7.9	25,363	-17.6	17,658	-13.6
2月	33,998	-19.2	15,298	-22.4	34,070	-0.8	21,167	-25.8	16,839	1.5
3月	38,486	-15.5	21,206	-17.7	44,122	-2.7	26,324	-21.6	17,363	-6.0
4月	37,859	-17.5	18,737	-22.1	42,719	-2.9	26,674	-20.2	17,423	-6.8
5月	36,040	-15.4	20,211	-5.4	42,816	-4.7	24,464	-24.6	16,000	-20.0
6月	36,598	-13.8	20,883	-16.1	44,539	-2.0	26,699	-11.2	18,001	-0.3
7月	38,647	-15.7	19,913	-17.5	45,063	-5.2	26,402	-17.1	17,452	-12.7
8月	34,772	-18.7	19,959	-16.7	42,864	-7.4	23,977	-16.9	16,948	-4.8
9月	34,541	-21.8	17,308	-24.3	45,562	-7.6	24,361	-20.5	16,022	-26.2
10月	36,763	-16.6	17,810	-20.0	45,064	-8.4	24,982	-20.5	16,465	-18.2
11月	34,050	-17.6	19,378	-13.7	44,951	-8.0	22,813	-13.7	16,868	-9.5
12月	35,462	-19.2	17,893	-15.6	45,787	-4.6	23,573	-16.5	15,613	-9.2
2016年1月	31,421	-20.0								

	マレーシア	前年比	インドネシア	前年比	フィリピン	前年比	中国	前年比	インド	前年比	ベトナム	前年比
2013年	206,001	4.8	186,629	-2.6	62,411	0.5	1,949,989	7.2	450,214	-8.3	132,033	16.0
2014年	208,950	1.4	178,179	-4.5	65,398	4.8	1,959,235	0.5	447,259	-0.7	149,327	13.1
2015年	176,032	-15.8	142,740	-19.9			1,681,951	-14.2			166,164	11.3
2014年5月	18,322	4.5	14,770	-11.3	5,069	-3.9	159,357	-1.6	39,059	-11.2	12,777	4.0
6月	17,753	6.4	15,698	0.4	4,829	-1.2	154,862	5.4	38,352	8.6	12,430	15.3
7月	18,070	-0.3	14,082	-19.1	5,564	1.3	165,391	-1.6	40,068	4.5	12,965	16.4
8月	18,894	11.0	14,793	13.7	5,845	5.0	158,453	-2.4	37,473	1.2	12,198	8.1
9月	17,150	2.1	15,546	0.2	5,783	1.1	182,348	6.9	43,342	26.5	13,216	16.4
10月	19,556	6.0	15,328	-2.2	5,589	15.4	161,072	4.4	39,469	3.7	14,072	12.6
11月	15,723	-4.3	14,042	-7.3	5,536	-1.0	156,798	-6.9	42,722	26.5	12,792	16.7
12月	16,814	-2.7	14,435	-6.6	5,470	0.4	177,514	-2.5	35,333	-3.4	14,038	15.9
2015年1月	15,245	-12.6	12,613	-15.4	5,219	-13.1	140,608	-19.7	32,109	-11.7	13,766	37.4
2月	13,514	-7.8	11,510	-16.5	5,351	10.2	108,630	-20.5	28,108	-16.5	10,480	3.9
3月	15,939	-5.7	12,609	-13.2	5,131	-6.5	141,737	-12.5	35,429	-14.2	14,736	18.1
4月	14,735	-16.6	12,626	-22.3	4,713	-12.2	142,703	-16.0	33,157	-7.4	13,200	7.7
5月	15,272	-16.6	11,614	-21.4	4,392	-13.4	131,770	-17.3	32,860	-15.9	14,938	16.9
6月	15,060	-15.2	12,978	-17.3	5,918	22.6	144,453	-6.7	33,072	-13.8	14,465	16.4
7月	16,005	-11.4	10,082	-28.4	6,846	23.0	151,501	-8.4	36,186	-9.7	14,668	13.1
8月	13,868	-26.6	12,399	-16.2	6,176	5.7	136,688	-13.7	33,720	-10.0	14,134	15.9
9月	14,038	-18.1	11,559	-25.6	6,255	8.2	145,501	-20.2	32,212	-25.7	14,034	6.2
10月	14,955	-23.5	11,109	-27.5	6,534	16.9	131,052	-18.6	30,943	-21.6	13,814	-1.8
11月	13,307	-15.4	11,520	-18.0	6,095	10.1	143,014	-8.8	29,748	-30.4	13,631	6.6
12月	14,094	-16.2	12,122	-16.0			164,294	-7.4	33,961	-3.9	14,298	1.9
2016年1月											14,000	1.7

8. 貿易収支(100万米ドル)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	44,047	35,544	-64,841	33,898	-21,902	22,449	-4,077	-5,713	259,015	-135,798	0
2014年	47,150	39,670	-70,932	39,050	-225	25,088	-2,199	-3,296	383,058	-137,351	802
2015年	90,258	51,543	-57,078	49,901	11,721	23,920	7,513		592,999		-4,111
2014年5月	4,970	5,283	-5,463	2,069	-605	1,730	53	863	36,239	-11,062	-369
6月	5,351	1,895	-5,561	4,453	1,664	1,269	-288	633	31,894	-12,448	-52
7月	2,341	2,614	-5,436	2,871	-1,104	1,127	42	-139	47,353	-14,275	-49
8月	3,317	4,103	-4,068	5,167	1,139	1,218	-312	-373	49,876	-10,669	1,074
9月	3,262	3,535	-6,497	3,949	-1,798	2,893	-270	63	31,213	-14,474	-582
10月	7,533	4,618	-6,425	2,983	74	331	-35	-441	45,699	-13,577	-4
11月	5,262	4,183	-6,727	4,621	-104	3,286	-497	-361	54,765	-16,237	438
12月	5,551	4,411	-7,641	2,926	1,535	2,561	2	-667	49,916	-9,179	-1,162
2015年1月	5,822	4,783	-4,774	5,787	-411	2,499	632	-862	59,282	-7,738	-362
2月	7,474	4,565	-4,627	3,308	385	1,266	663	-837	60,417	-6,531	-967
3月	8,337	4,063	-5,956	5,817	1,515	2,126	1,026	246	2,529	-11,396	-1,391
4月	8,363	4,751	-5,053	3,895	-527	1,890	477	-337	33,247	-11,121	148
5月	6,288	5,419	-5,174	4,568	2,427	1,532	1,077	507	57,087	-10,517	-1,239
6月	9,956	2,174	-5,905	3,229	160	2,135	528	-554	45,151	-10,556	-140
7月	7,049	3,608	-3,668	4,108	770	622	1,384	-1,519	41,690	-12,956	-487
8月	4,335	3,938	-3,234	2,888	721	2,502	328	-1,048	59,526	-11,416	346
9月	8,892	5,225	-4,694	3,866	2,794	2,250	1,030	-1,316	59,654	-10,687	-221
10月	6,589	6,115	-3,826	5,298	2,101	2,858	1,013	-1,944	61,319	-9,593	500
11月	10,235	2,737	-4,270	3,472	299	2,373	-408	-977	53,745	-10,473	263
12月	6,918	4,165	-5,897	3,663	1,487	1,866	-236		59,389	-11,664	-563
2016年1月	5,202										-200

9. 経常収支 (100万米ドル)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	81,148	55,309	4,149	54,099	-5,169	11,268	-29,109	11,384	148,204	-32,358	9,360
2014年	84,373	65,417	3,593	58,774	15,418	14,464	-27,499	10,917	219,678	-26,731	8,896
2015年	105,955				34,839				293,200		
2014年5月	9,187				-1,088			1,444			
6月	7,890	16,096	-3,666	14,224	1,686	4,634	-9,585	1,880	73,441	-7,469	2,470
7月	6,097				-513			998			
8月	6,967				562			603			
9月	7,601	15,155	4,511	17,467	-527	2,239	-7,035	1,324	72,176	-10,928	2,421
10月	8,742				2,846			1,763			
11月	10,755				1,823			1,419			
12月	6,954	19,108	2,920	14,785	5,664	1,685	-5,953	902	67,021	-7,709	1,910
2015年1月	6,257				2,600			299			
2月	6,081				3,549			602			
3月	10,101	22,013	-118	20,260	2,292	2,753	-4,159	1,002		-625	-1,341
4月	7,730				1,768			-816			
5月	8,316				2,796			1,362			
6月	11,872	16,380	258	17,261	1,555	2,074	-4,296	816		-6,128	691
7月	9,715				2,446			60			
8月	8,547				2,936			510			
9月	10,846	19,665	6,250	16,311	1,843	1,247	-4,190	88		-8,214	655
10月	9,120				5,178						
11月	9,910				2,997						
12月	7,460				4,879						

(注1) ベトナムは、2013年以前は旧基準。

10. 外貨準備 (年末値、月末値、金を除く、100万米ドル)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	341,665	416,811	311,105	273,065	161,328	133,501	96,364	75,689	3,821,315	282,656	25,893
2014年	358,798	418,980	328,430	256,860	151,253	114,572	108,835	72,057	3,843,018	322,600	34,189
2015年	363,167	426,031	358,752	247,747	151,266	93,981	103,270	73,964	3,330,362		
2014年5月	356,118	421,651	320,141	276,142	161,416	129,476	103,898	72,452	3,983,890	291,417	
6月	361,751	423,454	320,846	277,967	161,643	130,370	104,371	72,448	3,993,213	295,503	35,799
7月	363,232	423,661	324,948	273,658	163,084	130,329	107,298	72,625	3,966,267	298,634	
8月	362,740	423,066	331,237	273,293	161,157	130,548	108,023	72,822	3,968,825	297,467	
9月	359,612	420,696	325,681	266,142	155,593	125,891	108,104	71,987	3,887,700	293,828	36,822
10月	358,929	421,476	325,416	264,379	154,800	126,747	108,956	72,098	3,852,918	296,172	
11月	358,301	421,466	327,851	260,553	152,772	124,340	108,145	71,449	3,847,354	296,573	
12月	358,798	418,980	328,430	256,860	151,253	114,572	108,835	72,057	3,843,018	301,271	34,189
2015年1月	357,391	415,903	324,737	251,464	149,076	109,250	111,065	72,671	3,813,414	308,506	
2月	357,575	417,826	332,443	250,702	150,937	109,091	112,495	73,205	3,801,503	317,896	
3月	357,956	414,689	332,132	248,404	150,467	103,692	108,578	73,021	3,730,038	322,600	36,911
4月	365,107	418,174	343,133	251,921	155,247	104,434	107,833	73,446	3,748,142	332,533	
5月	366,711	418,958	344,781	250,189	152,632	104,953	107,796	72,924	3,711,143	333,139	
6月	369,955	421,411	340,689	253,280	154,476	104,071	105,078	73,266	3,693,838	336,927	37,334
7月	366,028	421,956	339,827	250,116	151,526	95,229	104,823	73,468	3,651,310	335,211	
8月	363,143	424,791	334,362	250,410	150,228	93,308	102,497	73,105	3,557,381	333,403	
9月	363,319	426,325	345,715	251,640	150,020	91,981	98,878	73,536	3,514,120	332,137	30,652
10月	364,806	426,774	356,981	249,775	152,645	92,667	97,829	73,919	3,525,507	335,485	
11月	363,669	424,611	355,696	247,088	150,418	93,198	97,587	73,473	3,438,284	332,703	
12月	363,167	426,031	358,752	247,747	151,266	93,981	103,270	73,964	3,330,362	333,141	
2016年1月	362,499	425,978	357,000	244,859	154,586	94,200	99,338	73,118	3,230,893		

(注2) シンガポールは金を含む。

11. 為替レート (対米ドル、年平均、月中平均)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	1,095.0	29.70	7.7567	1.251	30.72	3.15	10,420	42.46	6.1488	58.58	21,014
2014年	1,053.7	30.32	7.7547	1.267	32.48	3.27	11,860	44.40	6.1615	61.02	21,183
2015年	1,131.7	31.76	7.7526	1.375	34.25	3.90	13,393	45.51	6.2844	64.13	21,900
2014年5月	1,025.1	30.14	7.7525	1.252	32.54	3.23	11,536	43.88	6.2387	59.26	21,107
6月	1,019.2	30.00	7.7518	1.251	32.49	3.22	11,897	43.80	6.2310	59.70	21,238
7月	1,021.5	29.96	7.7503	1.243	32.11	3.18	11,661	43.47	6.1993	60.09	21,229
8月	1,024.4	29.99	7.7506	1.249	32.01	3.18	11,712	43.79	6.1553	60.84	21,190
9月	1,036.2	30.14	7.7527	1.264	32.20	3.22	11,900	44.22	6.1391	60.94	21,191
10月	1,061.4	30.41	7.7575	1.275	32.46	3.27	12,130	44.81	6.1252	61.32	21,231
11月	1,099.5	30.74	7.7544	1.296	32.80	3.35	12,151	44.95	6.1262	61.68	21,313
12月	1,103.8	31.40	7.7549	1.317	32.89	3.48	12,461	44.67	6.1914	62.81	21,364
2015年1月	1,088.6	31.65	7.7531	1.338	32.74	3.58	12,566	44.54	6.2178	62.13	21,352
2月	1,101.4	31.55	7.7556	1.355	32.57	3.60	12,777	44.20	6.2529	62.01	21,320
3月	1,113.5	31.43	7.7588	1.377	32.62	3.68	13,085	44.51	6.2391	62.48	21,423
4月	1,085.7	30.98	7.7511	1.349	32.52	3.63	12,949	44.38	6.2012	62.73	21,549
5月	1,094.0	30.62	7.7525	1.335	33.53	3.60	13,115	44.58	6.2043	63.75	21,719
6月	1,113.6	30.91	7.7527	1.345	33.72	3.74	13,306	45.04	6.2063	63.80	21,759
7月	1,147.0	31.19	7.7519	1.361	34.34	3.80	13,381	45.30	6.2080	63.62	21,763
8月	1,178.6	32.20	7.7533	1.398	35.42	4.06	13,810	46.27	6.3393	65.15	22,150
9月	1,186.5	32.67	7.7503	1.415	36.03	4.31	14,419	46.75	6.3693	66.22	22,483
10月	1,144.8	32.44	7.7502	1.401	35.69	4.26	13,783	46.34	6.3499	65.03	22,351
11月	1,153.7	32.62	7.7509	1.414	35.79	4.32	13,677	47.08	6.3712	66.14	22,429
12月	1,173.6	32.84	7.7509	1.408	36.01	4.28	13,842	47.19	6.4538	66.56	22,503
2016年1月	1,202.9	33.43	7.7811	1.432	36.14	4.34	13,865	47.54	6.5707	67.33	22,408

12. 政策金利 (年末値、月末値、%)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	2.50	1.88	0.50		2.25	3.00	7.50	3.50	6.00	7.75	7.00
2014年	2.00	1.88	0.50		2.00	3.25	7.75	4.00	5.60	8.00	6.50
2015年	1.50	1.63	0.75		1.50	3.25	7.50	4.00	4.35	6.75	6.50
2014年5月	2.50	1.88	0.50		2.00	3.00	7.50	3.50	6.00	8.00	6.50
6月	2.50	1.88	0.50		2.00	3.00	7.50	3.50	6.00	8.00	6.50
7月	2.50	1.88	0.50		2.00	3.25	7.50	3.75	6.00	8.00	6.50
8月	2.25	1.88	0.50		2.00	3.25	7.50	3.75	6.00	8.00	6.50
9月	2.25	1.88	0.50		2.00	3.25	7.50	4.00	6.00	8.00	6.50
10月	2.00	1.88	0.50		2.00	3.25	7.50	4.00	6.00	8.00	6.50
11月	2.00	1.88	0.50		2.00	3.25	7.75	4.00	5.60	8.00	6.50
12月	2.00	1.88	0.50		2.00	3.25	7.75	4.00	5.60	8.00	6.50
2015年1月	2.00	1.88	0.50		2.00	3.25	7.75	4.00	5.60	7.75	6.50
2月	2.00	1.88	0.50		2.00	3.25	7.50	4.00	5.60	7.75	6.50
3月	1.75	1.88	0.50		1.75	3.25	7.50	4.00	5.35	7.50	6.50
4月	1.75	1.88	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	5.35	7.50	6.50
5月	1.75	1.88	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	5.10	7.50	6.50
6月	1.50	1.88	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	4.85	7.25	6.50
7月	1.50	1.88	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	4.85	7.25	6.50
8月	1.50	1.88	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	4.60	7.25	6.50
9月	1.50	1.75	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	4.60	6.75	6.50
10月	1.50	1.75	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	4.35	6.75	6.50
11月	1.50	1.75	0.50		1.50	3.25	7.50	4.00	4.35	6.75	6.50
12月	1.50	1.63	0.75		1.50	3.25	7.50	4.00	4.35	6.75	6.50
2016年1月	1.50	1.63	0.75		1.50	3.25	7.25	4.00	4.35	6.75	6.50

(注1) 2016年3月号より、政策金利に変更。

13. 株価 (年末値、月末値)

	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	中国	インド	ベトナム
2013年	2,011	8,612	23,306	3,167	1,299	1,867	4,274	5,890	2,116	21,171	505
2014年	1,916	9,307	23,605	3,365	1,498	1,761	5,227	7,231	3,235	27,499	546
2015年	1,961	8,338	21,914	2,883	1,288	1,693	4,593	6,952	3,539	26,118	579
2014年5月	1,995	9,076	23,082	3,296	1,416	1,873	4,894	6,648	2,039	24,217	562
6月	2,002	9,393	23,191	3,256	1,486	1,883	4,879	6,844	2,048	25,414	578
7月	2,076	9,316	24,757	3,374	1,502	1,871	5,089	6,865	2,202	25,895	596
8月	2,069	9,436	24,742	3,327	1,562	1,866	5,137	7,051	2,217	26,638	637
9月	2,020	8,967	22,933	3,277	1,586	1,846	5,138	7,283	2,364	26,631	599
10月	1,964	8,975	23,998	3,274	1,584	1,855	5,090	7,216	2,420	27,866	601
11月	1,981	9,187	23,987	3,351	1,594	1,821	5,150	7,294	2,683	28,694	567
12月	1,916	9,307	23,605	3,365	1,498	1,761	5,227	7,231	3,235	27,499	546
2015年1月	1,949	9,362	24,507	3,391	1,581	1,781	5,289	7,690	3,210	29,183	576
2月	1,986	9,622	24,823	3,403	1,587	1,821	5,450	7,731	3,310	29,362	593
3月	2,041	9,586	24,901	3,447	1,506	1,831	5,519	7,940	3,748	27,957	551
4月	2,127	9,820	28,133	3,487	1,527	1,818	5,086	7,715	4,442	27,011	562
5月	2,115	9,701	27,424	3,392	1,496	1,748	5,216	7,580	4,612	27,828	570
6月	2,074	9,323	26,250	3,317	1,505	1,707	4,911	7,565	4,277	27,781	593
7月	2,030	8,665	24,636	3,203	1,440	1,723	4,803	7,550	3,664	28,115	621
8月	1,941	8,175	21,671	2,921	1,382	1,613	4,510	7,099	3,206	26,283	565
9月	1,963	8,181	20,846	2,791	1,349	1,621	4,224	6,894	3,053	26,155	563
10月	2,029	8,554	22,640	2,998	1,395	1,666	4,455	7,134	3,383	26,657	607
11月	1,992	8,321	21,996	2,856	1,360	1,672	4,446	6,927	3,445	26,146	573
12月	1,961	8,338	21,914	2,883	1,288	1,693	4,593	6,952	3,539	26,118	579
2016年1月	1,912	8,145	19,683	2,629	1,301	1,668	4,615	6,688	2,738	24,871	545

資料出所一覧

国名	発行機関	資料名	備考	国名	発行機関	資料名	備考
韓国	Bank of Korea	Monthly Statistical Bulletin	政策金利：ベースレート	インドネシア	Biro Pusat Statistik	Indicatie Ekonomi	政策金利：BIレート
	IMF	IFS	株価：KOSPI指数		Bank Indonesia	Laporan Mingguan	IFS
台湾	行政院	台湾経済論衡	政策金利：公定歩合	フィリピン	IMF	ISI Emerging Market	政策金利：翌日借入金金利
	台湾中央銀行	中華民国統計月報 金融統計月報	株価：加権指数		National Statistical Office	IFS	各種月次統計
香港	香港特別行政区政府統計処	香港統計月刊	政策金利：基準貸出金利	中国	中国国家统计局	中国統計年鑑	政策金利：基準貸出金利 1年
		香港対外貿易	株価：ハンセン指数		中華人民共和国海関総署	中国海関統計	Bloomberg L.P.
シンガポール	Departments of Statistics	Monthly Digest of Statistics	政策金利：なし	インド	Reserve Bank of India	RBI Bulletin	政策金利：レポレート
	IMF	IFS	株価：STI指数		CME	Monthly Review	Bloomberg L.P.
タイ	Bank of Thailand	Monthly Bulletin	政策金利：翌日物レポレート	ベトナム	統計総局	各種月次統計	政策金利：リファイナンスレート
	IMF	IFS	株価：SET指数		国家銀行	各種月次統計	IFS
マレーシア	Bank Negara Malaysia	Monthly Statistical Bulletin	政策金利：オーバーナイト政策金利		IMF	ISI Emerging Market	
	IMF	IFS	株価：FTSE ブルサ・マレーシアKLCI指数				

※主要経済指標は、2016年2月12日時点で入手したデータに基づいて作成。